ふれあい

Vol. 52

Kurashiki Riverside Hospital

大山のふもと：土居　照子　作

◆ 年頭のごあいさつ

◆ 肝炎の治療と助成制度のお知らせ

◆ 検査室便りVOL.4

◆ 健康管理センターよりお知らせ
アレルギーcheck＆検査

◆ ＫＲＨお知らせ
糖尿病フェスタ、餅つき大会
病院の日・看護の日、健康長寿教室案内など

理念と基本方針

＜理　念＞　私たちは医療の担い手としての責務を自覚し研鑽を重ね、「人と人とのふれあい」を大切にし、地域の人々に一層の信頼を得られる医療を提供し地域社会に貢献します。

＜基本方針＞1．患者さんの立場を尊重し、納得と同意に基づく医療を実行します。
2．医療技術と知識の習得に努め、良質で安全な医療を提供できるよう努めます。
3．地域の人々の診療、健康保持・増進に努めます。

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷リバーサイド病院

病院長年頭のご挨拶

内科　島村淳之輔

新年あけましておめでとうございます。

昨年は明るいニュースとしてオリンピックで日本が41個のメダルを獲得、金メダル数で世界第６位、メダル総数で第７位となりました。また、一昨年に続き、ノーベル生理学・医学賞を大隅良典　東京工大栄誉教授が受賞しました。暗いニュースとして4月に熊本で震度７の大地震があり、断続的に起こる余震も震度６以上が続き、直接死50人、関連死110人、熊本城等の文化財にも大被害がありました。外国のニュースでは、歌手ボブディランがノーベル文学賞を受賞。6月にイギリスで国民投票の結果、予想に反しEU離脱が選択されました。11月には米国の大統領選挙で型破りな共和党候補のドナルド・トランプ氏が当選しました。EUではイギリスの他、難民流入に反対して仏、独でもナショナリズムが台頭してきています。トランプ氏も米国第一を掲げており米国もナショナリズムが強くなってきます。ロシア、中国に続き、2017年に諸大国でナショナリズムが台頭して、国家間の対立が起き不安定な世界になってゆくのではないかと懸念されます。

倉敷リバーサイド病院は昨年４月に救急告示病院となりました。急患受診に対応した病院としてできるだけ時間外の急患受診に対応できるように体制を整備しつつあります。

お薬の処方、採血検査などのオーダリングシステムを始め、昨年５月からは注射もオーダリングを始めました。外来で注射に来られた場合は今までは診察室で診察をし、そのまま処置室で注射をしていました。オーダリングでは、定期的に外来で注射を受けておられる方は、受診時に診察室で注射カードを渡しますので、カードを持って処置室に行き、注射を受けて頂きます。受診時に次回は何時に注射に来られるか主治医に告げておいて頂ければ、前もってコンピューターにその日の注射指示を入れておきますので、早くなり便利なシステムです。

2016年６月に地域包括ケア病床10床を開始し、11月からはそれを22床に増床しています。地域包括ケア病床とは、急性期医療を経過した患者さん及び在宅において療養を行っている患者さんの病状が悪くなったときの入院を受入れ、リハビリテーションなどをして、在宅復帰支援を行う目的で作られた病床です。その他一般病床で、ある程度症状が安定したが、退院には未だ不安があるためリハビリなどの入院治療をもう少し受ければ社会復帰が出来ると主治医が判断した患者さん等も入院対象としています。地域包括ケア病床では医師、看護師の他に専従リハビリテーション療法士等により自宅退院が出来るように、治療、支援をします。しかし入院期間は60日間が限度であり、入院費が定額です。

今年は２月頃から画像検査(放射線科のフィルム検査等)をオーダリング化する予定です。できれば内視鏡、エコー検査などの画像検査もこのシステムに入れていきたいと考えています。３月にはリバーサイド病院となって３回目の病院機能評価（※）受審をする予定です。それが終わった４月以降に一番難関である医師の診察記事をコンピューターへの入力を始め、電子カルテ化を完成させていこうと考えています。

本年も地域密着型の病院として地域医療ニーズに答えるよう努力してゆく所存です。どうぞよろしくお願い致します。

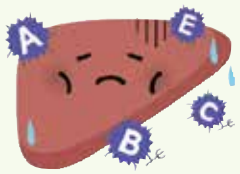
終わりに、2017年が皆様にとって充実した良い年になりますように祈念し、年頭のご挨拶といたします。

（※）病院機能評価とは病院を対象に、組織全体の運営管理および提供される医療について、病院機能評価機構が中立的、科学的・専門的な見地から評価を行うことです。

肝炎のお話　その2　…肝炎は飲み薬で治す時代へ

前回は慢性肝炎、肝硬変、肝臓がんの原因の多くはウイルスにあるという話やＢ型肝炎ウィルスワクチンの定期接種化を拡げていくお話でした。今回は**肝炎は飲み薬で治す新しい治療法と助成制度**について肝臓専門の島村先生にお話を伺いました。

●他人ごとではない「肝炎」



日本にはB型肝炎ウイルスキャリアが110～140万人、C型肝炎ウイルスキャリアが190～230万人いると推定されています。

肝臓は「沈黙の臓器」と言われ、慢性肝炎になっていても自覚症状が無く、日本では、肝細胞がんの約60％がC型肝炎ウイルス（HCV）の持続感染、約15％がB型肝炎ウイルス（HBV）の持続感染に起因すると試算されています。

●肝炎ウィルスは飲み薬で治す時代へ…

B型肝炎ウイルス(HBV)に対しての治療は、直接ウイルス蛋白を標的とした経口核酸アナログ剤やインターフェロンという薬の併用で治療し、進行を食い止めるコントロールができるようになりました。ただ、HBVは肝臓から完全に消失させることは難しく、多くの場合経口剤の服用を長期間続ける必要があります。また、B型肝炎（ＨＢｓ）抗体が陽性になり、治癒したB型肝炎の患者さんでも、強力な免疫抑制療法や抗癌剤治療を受けた時に、肝内に潜んでいたHBVが再活性化して重症肝炎を起こすことがあります。C型肝炎ウイルス(HCV)に対しては、インターフェロン治療の他に、最近副作用が少ない経口剤のみを使用する、「インターフェロンフリー治療法」が出てきています。副作用が少ないので高齢の方や肝硬変の方にも使用できます。1b型HCVに対してダクラタスビル＋アスナブレビルの2剤を24週間服用すると、80%以上の駆除率が得られています。ただこの薬剤に耐性を持つHCVを持っている患者が15%程度いて、この耐性ウイルスに対しては駆除率が40%程度に低下、さらに新たな耐性変異を作る可能性があります。ですから、この薬の使用前に、かかっているHCVの耐性変異を調べてから使用する必要があります。

また最近、ソホスブビル＋レジパスビルの2剤(1剤に合剤になる)を12週間服用すると、駆除率が100%に近い治療法が認可されました。2型HCVに対してはソホスブビル＋リバビリンを12週間服用すると、駆除率が95～98%得られています。この後にも次々と新しいHCVに対する経口剤が出てくる予定です。しかし薬には必ず副作用があります。副作用などでインターフェロン治療ができなかった方、中止した方、治療しても効かなかった方、代償性肝硬変で適用外だった方、高齢であきらめていた方、今度、新薬治療ができるかどうか、改めて再検討してください。

●肝炎は飲み薬を選択して治す時代…

今、どのように治療法を選択すればよいのか？治療を受ける上で大事なことは、肝臓病の専門医と相談の上、その個人にとって最新のベスト治療をすることです。最近の治療法の進歩は、速く、且つ目覚ましいものです。そのため最新知識が必要です。主治医選びも治療の結果を左右します。特に経口新薬の適用の適否は、遺伝子検査結果によって判断されます。治療にあたっては、肝臓専門病院、専門医の診断で行うことが求められています。薬の選択や経過観察がとても重要ですので、できれば肝臓の専門医に相談してください。

●肝炎治療の助成制度は…

Ｂ型肝炎、Ｃ型肝炎ウィルスへの薬は高価で1錠で数万円以上する薬もありますが、今は公的助成制度が得られ、１か月に1～2万円の支払いで薬を使用することが可能になりました。周りの人にウイルスを感染させないためにも、このような制度も利用し、きちんと治療をすることが大切です。

内科　島村　淳之輔

検査室便り Vol.4

検査室便りついに最終回です。今回はホルモン関係と腫瘍マーカーをお送りしようと思います。あまり目にする機会がない項目かもしれませんが良ろしければご覧頂ければと思います。

ホルモン関連

甲状腺機能関連

略号	名　　称	基準範囲
TSH	甲状腺刺激ホルモン	0.35～4.00μIU/ml
FT4	遊離サイロキシン	0.75～1.75ng/dl
FT3	遊離ヨードサイロニン	1.7～3.7pg/ml

FT4、FT3は甲状腺ホルモンのことです。TSHによりその分泌が調節されています。甲状腺ホルモンは高すぎても低すぎても良くありません。バランスが大切です。

心機能関連

略号	名　　称	基準範囲
BNP	ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチド	0.0～18.4pg/ml

BNPは心臓に負担がかかると分泌されるホルモンです。心臓機能の把握・病態の評価に使用されます。数値が高いと心臓に負担が掛かっていることを示します。

膵機能関連

略号	名　　称	基準範囲
IRI	インスリン	0 ～10μU/ml

血糖を下げるホルモンです。糖尿病の病態や耐糖能異常の評価に使用されます。

腫瘍マーカー

多くの腫瘍マーカーは健康な方であっても血液中に存在します。
通常は進行した癌の動態を把握するのに使われるもので、早期診断に使える検査法ではありません。腫瘍マーカーは悪性腫瘍(がん)を調べる補佐的な検査で確定的なものではありません。

略号	基準範囲	
CEA	5.0ng/ml以下	主に胃がん・大腸がんなどの消化器系のがんや肺がんなどの場合に上昇します。
AFP	10.0ng/ml以下	肝臓がんなどの場合に上昇します。
CA19-9	37.0U/ml以下	主に胃がん・大腸がんなどの消化器系のがんの場合に上昇します。
CA125	35.0U/ml以下	卵巣がんの場合に上昇します。その他、子宮内膜症の場合も上昇します。
PSA	4.0ng/ml未満	前立腺がんの場合に上昇します。その他、前立腺肥大症の場合も上昇します。

いかがでしたでしょうか？今回で最終回となりますが、検査値の見方をご理解いたく為に少しでもお役に立てたでしょうか。今後も検査の値に興味を持っていただければと思います。

検査値はいろいろな要因で変動します。詳細は主治医にご相談ください。

健康管理センターより
アレルギー検査のご案内

まずは、あなたのアレルギー度チェック

- ☐ 決まった季節に目のかゆみ、充血、クシャミ、鼻水が出る
- ☐ 掃除や衣替えをすると目のかゆみやクシャミ、鼻水が出る
- ☐ 肌が乾燥しやすく、湿疹が出やすい
- ☐ ちょっとした刺激で肌が赤くなりやすい
- ☐ 膝の裏など屈折部に湿疹が出る
- ☐ 特定の食べ物を食べた後、お腹が痛くなる・蕁麻疹が出る
- ☐ 果物や野菜を食べると口の中や喉がピリピリ・イガイガする
- ☐ 息苦しい時がある
- ☐ 咳が8週間以上続くときがある

1つでも当てはまればアレルギーの可能性があります。

検査方法：採血
検査料金：16,200円（税込）

※検査対象は18歳以上とさせていただきます。ご了承ください。

公益財団法人　大原記念倉敷中央医療機構

倉敷リバーサイド病院
健康管理センター

TEL. 086-448-1113
(月～金) 9：00～16：00

※検査を希望される場合は、健診の7日前（土日祝除く）までにご予約をお願いします。

糖尿病予防キャンペーン“糖尿病フェスタ”開催しました！

10月26日（水）糖尿病予防･治療の啓発活動の一環として『糖尿病フェスタinリバーサイド』と題し、１階正面玄関付近で血糖測定、口腔内チェック、フットケア、血圧測定、栄養・お薬相談、食品展示コーナーを設け開催しました。展示コーナーでは、手ばかりを使った目安量の見方や菓子パン・果物のカロリー表示を食品模型や実物を手にとって確かめることができ大変好評でした。特に血糖値や塩分に配慮した食事レシピも人気があり、食事に対する関心が高いことが伺えました。午後からは糖尿病食体験会と糖尿病専門医師による講演会を開催しました。糖尿病食体験では、ご飯を自分で計量し、管理栄養士からレシピや食材の説明後食べていただきました。続いて倉敷中央病院糖尿病内科の鈴木貴博医師による講演会を開催しました。インスリンの発見や糖尿病治療の歴史について、またインスリンは敬遠されがちであるが大変有効な治療であることなど分かりやすく噛み砕いた内容で、講演終了後は、活発な質問があるなど充実した会となりました。「参加して良かった」「次回も是非参加したい」など多数のお声をいただきました。

（臨床検査室　森分千鶴）

もちつき大会開催しました！！

12月17日（土）、年末恒例の「もちつき大会」を開催し、地域の方や入院患者さん、お見舞いに来られたご家族の方など多数の参加をいただき、大盛況のうちに終了いたしました。今回は、社会福祉法人ひまわりの会のご協力のもと、スウィーツやパンなどの販売を行い、こちらも大変好評でした。

お子さんたちが一生懸命おもちをつく姿、その姿をカメラに収めるお父さん、お母さん方、たくさんの微笑ましい光景が見受けられました。今後も地域のみなさまとの交流の場として、継続して参りたいと思います。おもちをつきたい方、食べたい方、来年はぜひご参加ください。

（健康管理センター　後藤　泉）

くじ引き

よいしょ！おもちつき

スィーツ・パン販売

健康教室　出張講座　報告

2016年12月1日、ライフパーク倉敷にて、水島地区「健康くらしき21・Ⅱ」ひろめ隊主催の『健康くらしき21』イベントが開催されました。今回の講師はスポーツクラブプレゴの美登由紀子インストラクターに依頼をしました。軽快な音楽に合わせて、転倒予防として足腰の筋肉を鍛える体操を中心に行いました。途中、片手ごと別の動きをする脳トレーニングもあり、参加者の方からも「良かった。楽しかった。」との声をいただくほど、大盛況のなか終わりました。

☆当院では、地域のみなさまへの貢献活動として、健康教室などへの講師派遣を行っております。お気軽にお問い合わせください。

講師派遣歴
- 医師（整形外科・小児科）
- リハビリ療法士・管理栄養士
- 運動療法士　等

【お問い合わせ】
地域連携室（1階　16番）高橋まで
☎０８６－４４８－１１１１（内線１１５）

健康長寿のための食事教室のご案内

下記の通り、開催いたします。
どなたでもお気軽にご参加下さい。

日　　時：毎月 第2木曜日14時～15時
開催場所：５階病棟 カンファレンス室

※筆記用具、食品交換表を
お持ちの方は、ご持参下さい。

血糖値の気になる方 必見！

平成29年

2月9日
「間食＆飲み物について」

3月9日
「食事療法の基本」
～食品の仲間わけ～

4月13日
「献立の立て方」～さあ献立を立ててみよう～

※お申し込み不要

【問い合わせ先】
倉敷リバーサイド病院 栄養治療室
TEL.448-1111 内線（6316）

病院の日・看護の日
～記念行事のご案内～

日時：平成29年5月13日(土)
13時30分～16時

会場：倉敷リバーサイド病院
2階 健康管理センター

【問い合わせ先】
倉敷リバーサイド病院
TEL.086-448-1111（内線 117 なんばまで）

誤認防止にご協力を！

当院では「安全は名前から」活動を推し進めております。

お名前とお誕生日をお願いします。

様々な場面で何度もご自身に名乗って頂く事があります。受付、外来、病棟でお名前を伺う際には、フルネーム・お誕生日でお答えください。
ご理解・ご協力をお願いいたします。

外来診療のご案内

平成28年11月1日改定

科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前 8：30～11：30（診療開始 9：00～）	○	○	○	○	○	○
	午後 15：00～16：00（診療開始 15：00～）	○	○	○	○	○	
神経内科	午前 8：30～11：30（診療開始 9：00～）予約制	○	○			○	○ ※1
	午後 予約制			○			
外科	午前 8：30～11：30（診療開始 9：00～）	○		○	○		○
	午後 15：00～16：00（診療開始 15：00～）		○		○	○	
緩和ケア外来	午前 8：30～11：30（診療開始 9：00～）					○	
	午後 15：00～16：00（診療開始 15：00～）			○			
整形外科	午前 8：30～11：30（診療開始 9：00～）	○	○	○		○	○
小児科	午前 8：30～11：30（診療開始 9：00～）	○	○	○	○	○	○
	午後 15：00～16：00（診療開始 15：00～）		○	○	○	○	
眼科	午前 8：30～11：30	○	○	○	○	○	
放射線科	午後 14：30～16：30		○	○ ※2	○ ※2	○	
リハビリテーション科	午後 14：30～17：00	○		○			
耳鼻咽喉科	午前 8：30～11：30（診療開始 9：00～）						○
	夕方 16：30～18：30（診療開始 17：00～）	○					
歯科	午前 8：30～11：30（診療開始 9：00～）	○	○	○	○	○	○ ※4
	午後 13：30～16：30（診療開始 13：30～）	○	○	○	○ ※3 15時30分まで完全予約制	○	

※1　第1・3土曜日、睡眠時無呼吸症候群専門外来（完全予約制）、第4土曜日のみ神経内科外来
※2　第3木曜日・第4水曜日休診
※3　木曜日診察は15：30まで完全予約制
※4　土曜日　完全予約制

交通アクセス

広域地図

周辺地図

詳細図

※水玉ブリッジラインをご利用の方は最初の信号をUターン右折して側道に入ってください。

交通機関をご利用される方へ

JR「新倉敷駅」より、タクシーで約15分。
JR「倉敷駅」より、タクシーで約25分。

自家用車をご利用される方へ

山陽自動車道「玉島IC」より、約20分。

高梁川より西側の方

1. 霞橋を目標にこられる場合
   霞橋を渡って水島方面へ左折、鶴の浦西側（高梁川堤防の下）の道を南下してください。
2. 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合
   水玉ブリッジライン水島大橋を出てすぐの信号を右折して側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。
   ＊水玉ブリッジラインが無料になりました。

高梁川より東側の方

1. 霞橋を目標にこられる場合
   429号線（旧2号）を橋の手前で水島方面へ左折、鶴の浦西側（高梁川堤防の下）の道を南下してください。
2. 水玉ブリッジラインを目標にこられる場合
   水玉ブリッジライン水島大橋手前の直前の信号で左側側道に入り、右折して水玉ブリッジラインの下をくぐり抜けると右手正面です。

患者さんの権利と患者さんへのお願い

患者のみなさまの権利について

当院では、患者さんの相互理解により医療が行われるよう、患者さんの権利を尊重します。
1. ひとりの人間として、その人格・価値観は尊重されます。
2. 医療を平等に受けることができます。
3. 説明と十分な理解による同意をもとに、適切な医療を選ぶことができます。
4. 当院で行われたご自身の診療に関する情報の提供を受けることができます。
5. 医療の過程で得られた個人情報は厳守され、患者さんの承諾なしには開示いたしません。

患者のみなさまへのお願い

私たちが良質で安全かつ効率的な医療を提供するために次のことをお願いします。
1. ご自身の健康に関する正しい情報の提供
2. ご自身の医療への積極的な参加
3. ご自身の治療に必要な診療上のルールの遵守
4. 他の患者さんの診療に支障をきたさないためのご協力

患者さんが、私たちと力を合せ、治療に専念され、少しでも早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。

平成28年4月改定

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構
倉敷リバーサイド病院
〒712-8007 倉敷市鶴の浦2丁目6番11号
TEL 086-448-1111 FAX 086-448-1251
URL http://www.kchnet.or.jp/krh/
発行者：島村 淳之輔
編集責任者：山下 伸治

倉敷リバーサイドのホームページアドレス
http://www.kchnet.or.jp/krh/
是非、アクセスして役に立つ情報をGetして下さい。

70900920Ⓢ